

校長 eyes (92)

9月10日(火)【二百十日】



本日は雑節のひとつ「二百十日」です。立春を起算日として210日目で、台風の多い日もしくは風の強い日といわれています。文学作品でも夏目漱石の『二百十日』や宮沢賢治の『風の又三郎』がこの時期のことを物語にしています。先月末の迷走台風にはずいぶん気を揉み、テントを倒したり、国旗・校旗を外したりする等の対策をしました。幸い被害はなかったのですが、これからの時期まだまだ油断はできません。皆さんも十分気を付けてください。

本日の短歌

「台風は ギリシア神話の 風の神 (テュフォン) それが語源と いう説もあり」